



伊那市議会12月定例会では15議案と請願・陳情3件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(人事案件)

- ◆**農業委員会委員の任命** (地区推薦などによる24人の委員の任命に同意しました。)

(一般案件)

- ◆**過疎地域持続的発展計画の策定** (新過疎法による財政支援などを受けるための計画を可決しました。)
- ◆**財産(土地)の取得 2件** (産業用地関連の2件の土地取得案件を可決しました。)
- ◆**公の施設の指定管理者の指定** (15種別、84施設の指定管理者を可決しました。)

(条例案件)

- ◆**企業立地の促進等のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例**
(新過疎法対応のための改正を可決しました。)
- ◆**保育園条例の一部を改正する条例** (新山保育園の所在地番の変更を可決しました。)
- ◆**国民健康保険条例の一部を改正する条例** (出産育児一時金の見直しについて可決しました。)

(令和3年度補正予算案件)

- ◆**一般会計 2件、国民健康保険直営診療所特別会計、介護保険特別会計、公有財産管理活用事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計**
(新型コロナウイルスの感染拡大対策や原油価格高騰に伴う支援策、子育て世帯への臨時特例給付金を含む補正予算を可決しました。)

(請願・陳情)

- ◆**新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情** (採択)
- ◆**新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める陳情** (採択)

(委員会提出議案)

- ◆**議会基本条例の一部を改正する条例** (条文の検証結果による改正案を提出し、可決しました。)

(議員提出議案)

- ◆**新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める意見書の提出**
(米価下落などに対応するよう求める意見書を国に提出することについて、可決しました。)

賛否の分かれた議案など

議案、委員会結果に賛成…○ 反対…× (なお、原則として議長は採決に加わりません。)

件名	委員会結果	委員会における審査結果に対する各議員の賛否																本会議結果					
		池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島光豊	黒河内浩		柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	飯島進(議長)
(請願・陳情) ◆消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情	不採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○		不採択

12月定例市議会

一般質問から

伊那市議会12月定例会の一般質問は、12月7日、8日、9日の3日間にわたって行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。

白鳥 敏明



働き方改革について

問 白鳥敏明議員 保育業務のICT化の進捗状況と、来年度の予算・事業計画は。

答 市長 今年度は無償トライアルを活用し、保育士が体験している。来年度、ネットワーク工事、タブレット端末購入などを予算計上し、運用開始は年度後半を想定している。

問 白鳥敏明議員 本市職員の男性育児休業取得率向上に向けた施策と、その目標値は。

答 市長 令和7年において30%を目標値とし、男性子育てハンドブックの配布、配偶者の出産に伴う休暇制度の周知、

子育て計画を事前に職場と総務課に共有するなど、職場環境の整備に取り組んでいる。

問 白鳥敏明議員 育児休業中でも上の子が保育園に継続通園できるように検討を。

答 市長 産前産後保育については、来年度から産後3か月まで期間延長する。更なる延長は保育士の確保が課題で、今後も保護者に寄り添った施策ができるように考えていきたい。

次期市長選挙について

問 白鳥敏明議員 次期市長選への市長の所信は。

答 市長 未収束の新型コロナウイルスで傷ついた市民生活や事業者への支援と、最重要課題として全ての分野において福祉の総点検を実施する。また、CO2削減等の環境問題、企業誘致等に引き続き対応し、「日本で最も

暮らしやすい、持続可能な社会を伊那市で創り上げる」ことに、4期目は取り組みたい。

二瓶 裕史



信州大学新設学部の誘致について

問 二瓶裕史議員 信大が構想中であるという情報系新設学部を誘致しては。

答 市長 建設予定の産学官連携拠点施設を通じて連携を強めたい。新学部については動向を注視する。

国道153号伊那バイパスについて

問 二瓶裕史議員 ①地元区民の懸案事項は雨水の排水方法である。どう考えるか。②歩行者の安全という観点から、バイパス開通と合わせた市道整備を。

答 市長 ①小三峰川や農業用水路には入れないこと、と伊那建設事務所に伝えており、対応してもらえると考える。流域治水の観点からも、市ででき

る対策も検討する。②バイパス事業の中で整備が可能な部分は県に要望する。

児童見守り実証実験について

問 二瓶裕史議員 ①位置情報アプリの情報を使って異変があった場合に市の青パトで児童を捜索する事業が実施予定とのこと。実施予定時期は。②利用料の補助を検討しては。

答 市民生活部長 ①実証の中で課題も見つかっているが、非常に有効な事業である。実施に向けて取り組みたい。②現在、検討中である。

原 一馬



将来を見据えたまちづくり、伊那市の土地利用計画について

問 原一馬議員 伊那市の土地利用計画について。

答 市長 都市計画の基本方針を示す伊那市都市計画マスタープランの改定では、住み慣れた場所に暮らし続けられるまちづくりを念頭に、安心安全で

住みよい環境を維持し、自然や歴史文化を守って、協働によるまちづくりを目指している。未来を織りなす創造と循環のまち伊那市にふさわしい土地利用を進めていく。

通学路危険箇所、生活道路の整備について

問 原一馬議員 県の調査による通学路危険箇所172か所、生活道路の整備について。

答 市長 172か所は非常に丁寧な検討の結果。全て分解して検討し、可能なものから速やかに対策を講じていく。生活道路の整備は、引き続き現場の状況、地区要望などを考慮して優先順位を付けて整備を進めていく。有利な財源を見つけて積極的に対応していく。

都市計画税について

問 原一馬議員 旧伊那市用途地域の土地所有者の目が払っている都市計画税の用途が、より明確に分かるように「特別会計」を設置してはどうか。

答 市長 会計区分が分かりにくくなり、事業執行への影響も懸念されることから、設置は考えていない。

三澤 俊明



UJターナー希望者と
市内中小零細企業との
就業マッチングについて

問 三澤俊明議員 伊那市では、UJターナー希望者向けに市内での就業を斡旋する取り組みはあるか。

答 市長 伊那市は職業斡旋の資格を持っていないので、斡旋といった形ではなく、本人の希望を聞いた上で、ハローワークや伊那商工会議所の移住者向けの無料職業紹介所を紹介している。今後、市が直接、職業紹介をできるよう斡旋の資格を取得していく。

問 三澤俊明議員 伊那市での就業を望むUJターナー希望者と採用を望む市内事業所との間で、就業マッチングの場が持てないか。

答 商工観光部長 市内の事業所には県で運営するマッチングサイトへの登録を勧めているが、登録手続きに手間がかかるなどにより登録数は少ない。今後県には改善を求めていく。

伊那市として何らかの形で
VC長野トライデントを
応援できないか

問 三澤俊明議員 伊那市内の企業で働いている選手もいることから、市として何らかの形で応援できないか。

答 市長 チームに関わりを持ったことで市内に勤めていただいていることは、大変喜ばしい。

施設利用の優先権など、一定の協力を行っているが、拠点が南箕輪村にあることから、チームの意向を踏まえ、協力できることを検討していく。

柴満喜夫



次期市長選について

問 柴満喜夫議員 任期満了に伴う来年4月17日告示、同24日投票の市長選について、出馬表明をいただきたい。また、今日まで取り組んできた成果と、これからの所信表明もいただきたい。

答 市長 新型コロナウイルス発生以降、感染症対策をはじめ、市民の生活を守るため、18回にわたる予算措置を行ってきた。

市長就任以来の課題、財政健全化や、子育てしやすいまちづくり、企業誘致、市道環状南線などの幹線道路整備、新産業技術を活用した地域課題解決に取り組み、掲げた公約はほぼ100%以上できたと思う。

4期目に向けては、新型コロナウイルスは収束したわけではなく、傷ついた市民の生活や事業者の支援を行うことや福祉の総点検が大きな仕事だと思っている。高齢者福祉や障がい者福祉に留まらない「福祉の棚卸し」を行う。

引き続き二酸化炭素(CO₂)削減などの環境問題にも積極的に取り組み、食料、水、エネルギーを自給できる地域づくりを実践することで「日本で最も暮らしやすい、持続可能な社会」を伊那市でつくる。

小型無人機ドローンを使った買い物支援、人工知能(AI)を活用した乗り合いタクシーなど、先端技術を活用して地域課題の解決を図っていききたい。

飯島尚幸



上伊那地域での有害獣対策・
図書館システムの更新について

問 飯島尚幸議員 ツキノワグマ対策について。この地域は全県的にもツキノワグマの保護が優先され、捕殺・駆除が大きく遅れている、と指摘されている。県知事への要望にはどのような決意で臨むのか。

答 市長 市内では、今年は高遠町・長谷地区で、昨年には西箕輪で重大な人身事故が発生。クマの出没件数はここ数年増加傾向にある。自然保護や生物多様性の観点もあるが、共存できる場面と共存できない場面がある。人家の庭先や街中に出てくるクマでさえ学習放獣することではないのかどうか。

私は市民の生命を守る立場にある。現状の市民の要望の下、不転の決意で臨み、首長権限をきちんと発揮できるように県に伝える。

問 飯島尚幸議員 ニホンジカ対策について。中央アル

プスのニホンジカ対策は、個体数が増加傾向にあると聞くが、広域的な対応策は全くない状況。広大なエリアだが、今後の傾向と対策については。

答 市長 私も中央アルプス野生動物対策協議会の一員でもある。早く対策を取り、個体調整に進まないと大変なことになる。協議会の中で種々の提案や議論と行動を起こせるよう考えていく。

問 飯島尚幸議員 図書館システムの更新について。8市町村の図書館の共同サーバーは、万が一の事故発生回避のため、上伊那情報センターで管理することが望ましい。

答 教育次長 有事の際の対応や市町村の負担など、総合的に調査、研究する。

野口輝雄



小学校高学年の
教科担任制の導入についての
準備の現状について

問 野口輝雄議員 教科担任制の導入の現状について。

答 教育長 国から具体的な指示が出ていないので、今後の動向を注視する。

市内の小規模校に市費負担理科専科教員を配属する提案について

問 野口輝雄議員 教育の格差は正と教員の負担軽減のため、小規模校に理科専科教員の配属を提案する。

答 教育長 全ての小規模校に理科専科教員を配置することは大変困難である。

天竜川において被害を及ぼす鳥類の駆除の現状と今後の対策について

問 野口輝雄議員 天竜川における鳥類の駆除の現状と今後の対策の提案について。

答 市長 カワウ等を減らすことは重要で、空気銃による駆除も始めている。漁協とこれまでに以上に連携を密にしたい。

天竜川本流の大型渓流魚を使った観光開発について

問 野口輝雄議員 天竜川の大型渓流魚を観光資源として活用したいが、どうか。

答 市長 良いアイデアで、非常に期待でき、かつ魅力的である。少しずつ発信すると良い。

田畑正敏



伊駒アルプスロードの進捗に伴う課題について

問 田畑正敏議員 伊駒アルプスロードの全線開通の見通しは。

答 市長 国の直轄権限代行で進めている事業であるため、時期については未定。伊那市として早期に整備が進むよう、県、国に要請していく。

問 田畑正敏議員 今年度の事業予算規模は。

答 建設部参事 4億8700万円である。

問 田畑正敏議員 防災拠点を整備した道の駅構想についての進展は。

答 市長 庁内で検討プロジェクトチームを立ち上げ、国の担当者を招いて勉強会をしているところである。

伊那市の人口減少問題への取組状況と直面する課題について

問 田畑正敏議員 出生数の減少に歯止めをかけ、増やしていくための施策は。

答 市長 結婚・出産・育児の切れ目のない支援策を行っている。ライフデザインの多様化や晩婚化、未婚化により理想とした数の子供を持てなくなっている。雇用環境の整備、育児と仕事の両立が叶うような子育て支援策を更に推進していく。

問 田畑正敏議員 進学した若者を伊那に呼び戻す施策として奨学金返還支援補助制度があるが、活用している対象者は何人いるのか。

答 商工観光部長 認定者は57人、補助金交付者は39人である。

小林眞由美



テクノロジー活用の支援について

問 小林眞由美議員 交通弱者支援「ぐるっとタク

シー」の利用方法などの個人対応サポートで利用向上を。

答 市長 職員・集落支援員が訪問して個別に対応している。来年度からモバイル市役所が各地に向いてサポートを行い、利用向上を図る。

問 小林眞由美議員 今後の交通対策はどのように進めるのか。

答 市長 来年度以降、市街地高齢者移動手段の確保等の課題を精査し、利用希望者と運行事業者とのバランスを考えた新しい仕組みを検討する予定。

問 小林眞由美議員 買物弱者支援「ゆうあいマーケット」の今後の進め方は。

答 市長 ICTライフサポートチャンネルやモバイル市役所行政サービス等の活用と地域ボランティアによるサポートで、誰一人取り残さない環境づくりを継続する。

安全安心のまちづくりについて

問 小林眞由美議員 児童生徒を守る取組み、地域との連携状況は。

答 教育長 学校では交通安全全教育を実施、地域ぐるみで登下校の見守りを行う地区

もあり、地域の各種団体の協力支援をいただいている。

問 小林眞由美議員 総合的窓口設置で包括的な相談活動支援を。

答 市長 地域の活動と行政との連携は重要であり、分野別に各部署が担当している。窓口の一本化は難しい。

唐澤千明



伊那市の建設業界の現状と今後について

問 唐澤千明議員 ①現場責任者や技術者が不足している中、年度末に完成が集中して管理者不足とならないよう、発注時期の調整や平準化しての発注をお願いしたいが考えを。②入札制度について、伊那市は国交省の定めた算定式を使用して、最低制限価格の下限額を87.5%と決めているが、長野県並みに引き上げることができないか考えを。

答 市長 ①市単独工事を中心に早期の工事発注によって平準化に努め、受注者に対して

しを迅速に公表する。更に有効な方策を考えたい。②過度な安値の受注にならないよう最低制限価格を設けている。
県内他市と比較しても高い水準にあり、現在引き上げは考えていない。

鹿嶺高原を活用した地域の活性化について

問 唐澤千明議員 「展望テラス」設置に向けて設計費が予算化され実施設計中だが、設置による有効性や誘客手段としての活用などを考えを。

答 市長 雷鳥荘に隣接する位置に、地域産材を利用し景観にマッチした空間を、県単補助事業や企業からの応援をいただき設置したい。週末のイベントや地域食材の活用などで市民にも利用いただく。

柳川 広美



企業誘致について

問 柳川広美議員 N社から買い戻す大萱産業適地は

適正な価格か、販売の見込みは。
答 市長 近傍類似の工場用地価格は、近年変動していない。大萱B区画は具体的な誘致交渉が進んでいる。

生理用品を学校や図書館のトイレに

問 柳川広美議員 学校や図書館、いなせ、公民館、創造館、アルラ等のトイレに生理用品を。

答 市長 今年4月から市役所子育て支援課、福祉まちづくりセンター、保健センターで希望者に配布している。市内4高校の保健室にも配布している。いなせやアルラでの配布は、施設と相談する。
教育次長 学校では保健室に生理用品を用意し、児童生徒の申し出に対応している。トイレへの配置は、現場とも相談して検討していく。

馬場 毅



障がい者への燃料補助を広げる

問 馬場毅議員 ガソリン価格が約1.5倍になっている。市の障害者支援策「自動車燃料費・タクシー利用助成券」を追加支給できないか。
答 市長 現状では考えていないが、今後ガソリン価格の変動、国の施策を見ながら必要に応じた対応を考えていく。

問 馬場毅議員 従来この事業の対象とならない障がい者に、緊急の支援策として交付ができないか。
答 市長 この事業は、今回の原油高騰に伴う交付対象には入らない。今後、障害者福祉施策において総合的に見ていく中で、適正な対象者の範囲についても考えていく。

必要とする市民に支援を届ける

問 馬場毅議員 支援の条件が「市民税非課税」では、苦しいのに支援が受けられない市民が出る。市で行う支援策の対象は、最低でも「年収200万、所得132万円以下」とするべき。
答 市長 緊急性がある事業を迅速に行うために「住民税非課税世帯」を対象とするのは、有効な基準のひとつ。所得基準や条件については、国の施策の

考え方を基本に、内容、目的などに応じて対応していく。

宮島 良夫



老松場古墳の今後について

問 宮島良夫議員 南信最古の前方後円墳老松場古墳の発掘調査を今年度で終わりにするの。
答 教育長 1号墳が前方後円墳であることや築造年代が5世紀前半であることが確認でき、調査の目的を達成できたので調査は終了する。今後、市の学術調査の予定はないが、大学などの調査機関の要望があれば、市としても関わらせていただきたい。

問 宮島良夫議員 古墳公園整備委員会の「発掘調査は是非継続して欲しい」、「7号墳も発掘して欲しい」、「文化財としての認定を関係機関へ申請して欲しい」、「公園の管理に関わって欲しい」との意見について、市としてはどう考えるか。
答 教育長 調査は終了したが、これまでの調査結果を

まとめ、公表するとともに、文化財の指定に向け、文化財審議委員会に諮っていきたい。地域の歴史的、文化的資産として保存、活用できるよう整備委員に寄り添っていききたい。

子どもたちの食の安全について

問 宮島良夫議員 多くの国でグリホサートを含む農産物や、除草剤を禁止しているが、日本だけは野放し状態である。学校給食で使用されている食材の農薬の検査をされているのか。学校等で危険な除草剤を使用しているのか。
答 市長 グリホサート等の残留基準値が具体的に示されているため、検査はしていない。保育園の園庭や畑では除草剤は使用していない。

教育次長 学校は敷地が広範囲なため、子供が立ち入らない場所に限って、市販の除草剤を使用している。



伊那市の通学路172か所の危険箇所対策について

問 飯島光豊議員 ①危険箇所172か所の事業見通しは。②速やかに実施する箇所はどこか。

答 市長 ①令和4年度にグリーンベルト、標識、防護柵や蓋など33か所を530万円、5年度に18か所を実施する。歩道設置はまだつかみきれない。

建設部長 ②スクールゾーン等16か所を速やかに行う。東春近では車屋大久保線、中組殿島橋線等で行う。

伊那市の米価暴落・資材・燃油等高騰対策について

問 飯島光豊議員 ①市の米価暴落の独自支援対策は。②施設園芸農家の燃油高騰対策は。

答 市長 ①伊那市として米価下落への独自支援策を検討してお示ししたい。②対象農家の使用実績に合わせ補助金を

交付したい。支援が行き渡るよう適切な期間設定にする。

伊那市子ども障がい者医療費助成の全額無料化について

問 飯島光豊議員 県下63自治体で子ども障がい者医療費助成の無料化の対象年齢を18歳まで拡大し、11自治体では全額無料化しているが、伊那市は。

答 市長 全額無料化のニーズがあることは認識しており、今後、検討したい。

黒河内 浩



「馬の背ヒュッテ」について

問 黒河内浩議員 南アルプス国立公園内にある山小屋「馬の背ヒュッテ」は休業状態が続いている。所有者の状況から営業継続が困難と思える。伊那市が購入してはどうか。

答 市長 登山者の安全確保と環境保全に必要な小屋。国立公園を守るためにも、購入を積極的に進めたい。

次期補正予算編成に向けて

問 黒河内浩議員 年明けに国から地方創生臨時交付金が交付される。コロナ対策、困窮者対策などのためにも、特に次の補正予算は大切である。その編成方針は。

答 市長 市民の声を聞き検討したい。また、5万円のクーポン分の支給方法は、議会と相談して決めたい。

林業振興対策について

問 黒河内浩議員 ウッドショックのこの時に地元産材の利活用促進のためにも、木材の伐採・搬出が容易にできるような相談体制など整備するべき。

答 市長 林業を伊那の地を進めするために所有者確認を進めている。また、架線を使って安く搬出できるよう検討している。

前田 久子



長谷地域の魅力発信について

問 前田久子議員 ①鹿嶺高原の人氣が高まりキャンプ場の予約が取れない程に。キャンプ場の拡張など今後の展望は。②戸台の化石が散逸しないように資料室へ保管する戸台方式の存続と、手狭な化石資料館への支援は。③民話孝行猿の伝承を基に親への想いを綴った「親孝行の讃歌」事業が中断しているが再開は。④長谷郷土資料館設置について。数々の文化や歴史、三峰川総合開発、三六災害など、自然現象と立ち向かってきた長谷の姿を常設展示する考えは。今閉館中の入野谷を活用して、長谷の魅力発信の拠点にできないか。

答 市長 ①保水力の強いミズナラを1200本植樹した。今夏はキャンプ宿泊6671人、10本のサイクリングコースなど人氣が高まり、今商工会議所を中心にテラス設置の準備中。大パノラマとアクティビティ、焚火と星空が魅力。グランピング等区分けして利用増を図る。④入野谷は山村と都市の交流が目的であり、補助事業の目的に沿った指定管理者の公募を行っていく。

教育長 ③小学校の道徳につながることもあり、作品については児童の手に触れるように推薦

図書にしていきたい。

教育次長 ②化石資料の活用等重点を置き、学校での出前講座など戸台の化石保存会を支援しながら、巡回展示や企画展を行い、化石の魅力を発信する。

文化スポーツ部長 ③これまでの教育的観点に交流や地域振興につながる要素を絡めつつ、地域資源化できるよう、方向性を検討する。

唐澤 稔



建設業界の現状について

問 唐澤稔議員 公共工事発注の平準化は。

答 市長 業者の選定委員会の実施や早い段階での繰越明許の活用によって工事の平準化に取り組んでいる。市単独事業を中心に早期の工事発注によって平準化に努め、受注者に対して工事見通しを迅速に公表するとともに、方法も調査検討していきたい。

問 唐澤稔議員 入札制度について、最低制限価格を県

げていただきたいが。

答 市長 最低制限価格を引き上げることは、予定価格の範囲を狭め不成立が懸念されるため、最低制限価格を引き上げることは考えていない。

**通学路安全箇所
点検と対策は**

問 唐澤稔議員 172か所については。

答 教育長 国からの危険箇所調査の通知があり、通学路だけでなく、幹線道路などを広く危険箇所として挙げた。歩道の新設、拡幅といった規模の大きな対策を要するものから、見通しを改善する草刈りといった比較的小さな対策対応を求める箇所まで、学校や地域の要望を尊重して拾い上げた。

問 唐澤稔議員 今後の点検については。

答 教育長 建設部局と相談して、伊那建設事務所や県の市町村道路担当課へ報告した。通学路安全推進会議に知らせて意見を求め、有効な対策につなげていく。学校のPTAの校外指導部を中心として通学路の安全点検を行っている。自分の命は自分で守る、といった安全意識を

高めていけるよう指導、支援に取り組んでいく。



松澤 嘉



**新型コロナウイルス感染症の
今後の対応について**

問 松澤嘉議員 感染症の第5波時における受入体制

に問題はなかったか。オミクロン株に対して心配はないか。

答 市長 オミクロン株の姿がよく見えないため、第6波に対しても楽観はできない。中病については、病院長を中心に万全の備えをとっている。

保健福祉部長 入院等に対しては、圏域を越えた対応をしている。自宅療養者に対しては、県で

パルスオキシメーターの配布や健康観察等の対応を行った。県では、救える命が救えない状況は回避できたと総括している。

問 松澤嘉議員 小児のワクチン接種は。

答 市長 小児用ワクチンの薬事承認後となるが、早ければ来年2月頃開始の可能性が

ある。追加接種もあり、医師会と相談しながら対応していく。

問 松澤嘉議員 福祉灯油ペレット券の発送は。

答 市長 今議会で採決したのであれば、来年1月中旬となる予定。

保健福祉部長 約3600世帯に1000円券10枚1万円分を直接送付する。

問 松澤嘉議員 施設園芸農家や交通事業者への原油

価格高騰支援について。

答 農林部参事 施設園芸農家は年明けから申請受付、通知は関連団体のほか、使える媒体全てを使い周知する。支払いは一括払いのほか、概算払いも検討している。

商工観光部長 交通事業者については個別案内となる。申請は随時受け付け、支払いは審査後となる。

問 松澤嘉議員 来年3月以降の経済対策は。

答 市長 人の移動、感染状況等を見ながら、今後も適時対応する。

宮原 英幸



**学校給食における食器と
施設整備について**

問 宮原英幸議員 給食施設の食器導入経緯及び材質の共通化、設備改修の予定は。

答 教育長 市内各校給食委員会等の選定で、PP、PEN、強化磁器の三種が使われてきた。評価はPENが高い。高遠・長谷は食育上の観点から磁器であるが、材質は同委員会等の検討を尊重する。高遠センターの洗浄機、暑さ対策は、次期改築に合わせたいが、その間の改善は検討する。

問 宮原英幸議員 生徒数が減少している東部地区は、地域性考慮の施設とすべきでは。

答 市長 学校給食あり方懇談会等の検討から、これまで、自校方式、共同調理場方式を採用してきた。整備は令和5年に手良、その後高遠、長谷の見込み。センター自校折衷地域独自方式等の提案は、総合的に検討したい。

水道事業経営の課題について

問 宮原英幸議員 送水管の老朽化等危険箇所はないか。また、技術人材が不足では。

答 市長 民間活用や日常的な若手育成に努めている。

水道部長 和歌山市の事故後の点検では、直ちに改修が必要な改修箇所はない。

問 宮原英幸議員 収益向上のための有収率向上施策、料金値上げの可能性は。

答 市長 個人使用量は減少見込だが、企業の使用量を増やすなど努力する。料金見直しは、次回は令和5年度に検討。丸紅の漏水調査技術も試行する。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、原則として、定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日の正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

次回3月定例会審査の受理期限は、2月17日(木)正午です。(期限は変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

※「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

三宅村・伊那市友好盟約

50周年 親善交流事業

11月15日、16日の両日、友好盟約の締結から50周年を記念して、東京都三宅村を全議員で訪問しました。

新型コロナウイルス感染症

拡大防止のために再三延期されてきた事業でしたが、都道府県をまたぐ移動の禁止が解除になり、三宅村の議長との話し合いで、三宅村に伺うことが決定されました。

飛行機の定員が限られているため、2班に分けて行くこととなりました。

三宅村との友好交流は、江戸時代の「絵島、生島事件」で大奥の絵島が高遠に遠流となり、歌舞伎役者の生島新五郎が三宅島に流罪となったのを縁として、旧高遠町との間で始まりました（昭和45年4月21日友好町村盟約締結）。



三七山(S37年 噴火の噴出物の山)

三宅村は人口2400人、東京の南南西180kmに位置し、漁業、農業、観光業が主体です。平成12年の噴火により5年間全島避難を強いられましたが、平成17年に帰島を果たしました。



火山体験遊歩道(中学校の校舎によりせき止められたS58年 噴火の溶岩流)

15日(月)15時から三宅村文化会館にて谷議長、高塚副村長から歓迎のご挨拶をいただき、また島の概要等説明をお聞きし、意見交換、交流をいたしました。



生島新五郎(1743年没)の墓

そのほか、2班に分かれて、地元のガイドさんから説明を受けながら島内の視察を行いました(伊豆岬、生島新五郎の墓、火山体験遊歩道、七島展望台、レクリエーションセンター等)。噴火災害から復旧、復興してきた村民の努力、島に育ち自然と共存しながら島に生きる姿を見ることができました。

「こんにちは先輩」に参加しました

10月20日、伊那北高校1年生の「総合的な探求」の時間において、20の分野で活躍する先輩を招いてインタビューを行うという「こんにちは先輩」が開催されました。伊那市議会からは「政治」分野として参加をし、多くの生徒と「地方議員について」「伊那市の魅力について」など対話をすることができました。



(二瓶 裕史)

「カタイ」というイメージがあったが、丁寧だと感じた」「私も議員になってみたい」「今までより身近になりました。」など嬉しい感想が届きました。



数千年間の噴火の様子が残る海岸線

伊那市中学生キャリアフェス

2021にオンライン参加!

11月11日、伊那市内全6中学校の
2年生を対象とした中学生キャリア
フェスに、オンラインで参加しました。

伊那市議会の仕事・議員の仕事や思いなどを少しでもわかりやすくお伝えし、中学生の心に響くお話ができればと、今回は事前準備として、中学生キャリアフェス参加PR動画を作成し、伊那市議会の新たなイメージづくりに取り組みました。

また、多くの議員の参加と進行などの効率を考慮して、昨年同様、議員に貸与されているタブレットで自宅等から参加する方法に加え、新たに市役所内の室にメイン会場を設け、同会場で複数の議員が参加できるようにしました。
今回のテーマ「地域を知り・



伊那市議会のメイン会場

地域の人と触れ合い・地域の未来を考える一日」に合わせ1ブース(時間割での1コマ)ごとに3人の議員が担当し、合計8ブースに参加しました。自己紹介と、伊那市の魅力や好きなところ、中学生時代の



の趣味や夢などの話をしながら交流しました。議会・議員の仕事については、中学生の自転車通学者にヘルメット代金を補助することに議員としてどうかかわったかなど、身近な例を挙げて説明しました。

生徒の皆さんは緊張しているようでしたが、しっかりと返答・発言する姿に頼もしさを感じました。

チャットを使って話しかけてきてくれた生徒への対応もでき、良い交流ができました。ある生徒からは、「議員のイメージはカタくて、議会は難しいところだと思ひブースに入る気になれなかった。でも、PR

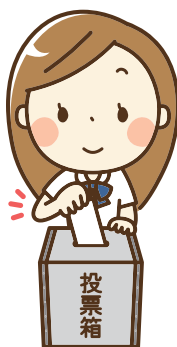
動画が面白かったので最後のブースに入った。」と言われ、嬉しく思いました。

各ブースの終わりには「18歳になったら投票に行こうね!」と呼びかけました。



中学生の頃はあれもやってこれもやって、こんな子どもだったよ。伊那市のどんなところが好き? 夢は? 議員はみんな伊那市が大好きなんだよ。こんな伊那市、いいよね!

18歳になったら
投票に行つてね!



伊那市議会のPR動画
見てみてね♪

「伊那市の未来を考える市議会議員になることが生徒の将来の夢になるように」との思いを込めたキャリアフェスへの参加は「議会の進歩」にもなっていると感じました。